

# カタラン数

～規則を見つけよう～

右図のように、縦の並び（列）が  $n$  列あり、横の並び（行）が 2 行である空白のマス目がある。

この  $2n$  個のマスの中に、1 から  $2n$  までの自然数を 1 個ずつ埋める。ただし、上下段ともに、右の方ほどマスに入る数字が大きいく、各列では下段の方が上段の数字より大きい。

例えば、

$n=2$  の場合、4 個のマス目に入る数字は、右図の 2 通り。

1 列 目	2 列 目	.....	$n-1$ 列 目	$n$ 列 目
上段		.....		
下段		.....		

1	2	1	3
3	4	2	4

問 1.  $n=3$  の場合、6 個のマス目に入る数字は、何通りありますか。下の作業用の枠を使用して考えなさい。 下の **5 通り**

1	2	3	1	2	4	1	2	5	1	3	4
4	5	6	3	5	6	3	4	6	2	5	6
1	3	5									
2	4	6									

問 2.  $n=4$  の場合、8 個のマス目に入る数字は、何通りありますか。下の作業用の枠を使用して考えなさい。

1	2	3	4	1	2	3	5	1	2	3	6
5	6	7	8	4	6	7	8	4	5	7	8
1	2	3	7	1	2	4	5	1	2	4	6
4	5	6	8	3	6	7	8	3	5	7	8
1	2	4	7	1	2	5	6	1	2	5	7
3	5	6	8	3	4	7	8	3	4	6	8
1	3	4	5	1	3	4	6	1	3	4	7
2	6	7	8	2	5	7	8	2	5	6	8
1	3	5	6	1	3	5	7	以上の <b>14 通り</b>			
2	4	7	8	2	4	6	8				

問 3. 次のような階段状の経路で，地点 A から地点 B まで行く最短経路の総数は，図 I ～ III のそれぞれにおいて何通りありますか。

図 I 2 通り

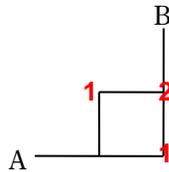


図 II 5 通り

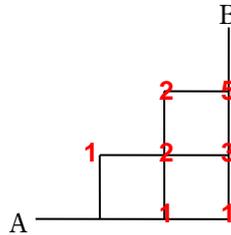
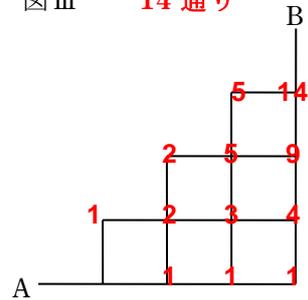


図 III 14 通り



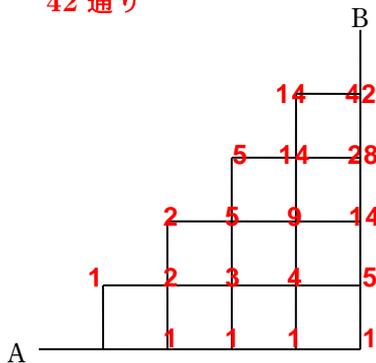
問 4. 問 1～2 と問 3 の関係は，どうなっていますか。

(解答) 場合の数が同じである。

〔チャレンジ問題〕

$n=5$  の場合，10 個のマス目に入る数字は，何通りありますか。

42 通り



1	2	3	4	5
6	7	8	9	10

これも同数ある。

〔解説〕

例えば，かっこのペア( ) を 5 組を考える。この 5 組(((( ))) を順に 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 と番号付けをする。すなわち，1～5 は開くかっこ(で，6～10 は閉じるかっこ)とする。

このとき正しいかっこに組み合わせ方の総数を考える。

例えば，(( ))( ) は正しいかっこの組み合わせ方。(( ))( ) は正しくないかっこの組み合わせ方。4 番目の閉じるかっこ ) に対応する開くかっこ ( が無い。

かっこを左から順に 1～10 の番号付けをして，開くかっこ ( の番号を上段に，閉じるかっこ ) の番号を下段に記入する。このとき，問 1, 2 のマス目の数字の埋め方とかっこの並べ方が 1 対 1 に対応する。

例えば,

上に挙げた正しいかっこの組合せ  $((())(())(())$  は  
右のマスの並べ方に対応する。

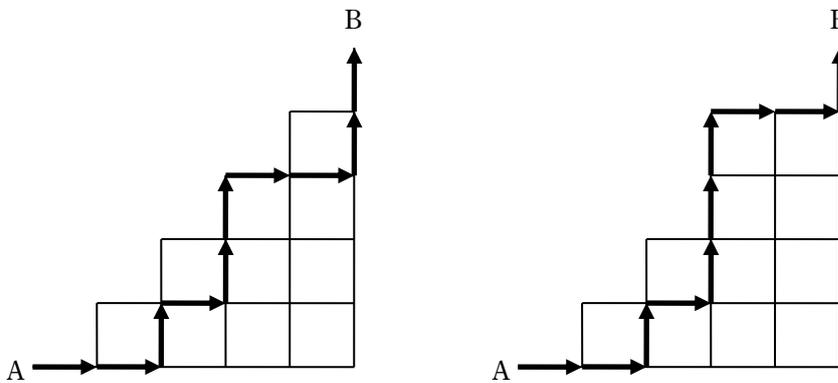
正しくないかっこの組合せ  $((())(())(())$  は  
右のマスの並べ方に対応する。

1	2	4	7	8
3	5	6	9	10

1	2	4	8	9
3	5	6	7	10

次に, 階段状の最短経路について考えると,  
開くかっこを $\rightarrow$ , 閉めるかっこを $\uparrow$ とみて, その順列を考える  
と, どこで区切っても, その左側にある $\rightarrow$ の個数と $\uparrow$ の個数を見ると, 常に $\rightarrow$ の個数の方が等  
しいか多い。 $\rightarrow$ ,  $\uparrow$ が1区画の移動を表すとすると, その順列が階段状の最短経路に1対1に  
対応する。

正しいかっこの組合せ  $((())(())(())$  は, 下図の左側の経路に対応する。正しくないかっこの  
組合せ  $((())(())(())$  は, 下図の右側の経路に対応する。



[参考] 右図において,  $A \rightarrow B$  の最短経路は全部で  
 ${}_{10}C_5 (=252)$  通りある。(点線部分も通過可)  
このうち, 点線部分を通過する最短経路は  
 $C \rightarrow B$  の最短経路の総数  ${}_{10}C_4 (=210)$  に等しい。  
ゆえに,  $A \rightarrow B$  の最短経路で, 点線部分を通過しない  
経路 (太実践部分のみを通過する経路) の総数は,  
 ${}_{10}C_5 - {}_{10}C_4 (=252-210)$  によって求めることができる。  
点線部分を通過する最短経路が,  $C \rightarrow B$  の最短経路に  
1対1に対応できることについては,  
右図を参考に考えてください。

